



モワレ発生まで確認できる高精細モニタープルーフシステム

Lascaux Moiré Checker

ラスコー・モワレチェッカー

ラスコー・モワレチェッカーは、1bit 画像データのモワレ発生をモニター上で確認する製品です。現在モワレチェックには主として DDCP が使われていますが、出力時間が長くランニングコストも高い点がネックとなっています。また 1bit データ対応のインクジェットプルーフは、疑似網点のためモワレ確認の信頼性が低いことは否めません。これらに対しラスコー・モワレチェッカーは、モニター上で確認するためランニングコストがかからず、また表示までも時間も非常に短くなります。また元データの網点形状や面積率を正確に維持していますから、モワレ確認の信頼性も高いものとなっています。

また高度なカラーマネージメント機能も有していますので、1bit データに対応したハイエンドのモニタープルーフとしてもご活用頂けます。

ラスコー・モワレチェッカーは2つの表示モードで構成されています。

モワレチェックモード

1bitTIFF または 8bitTIFF や PDF など連続調データから、モワレ発生状況を確認するモード

カラープルーフモード

1bitTIFF をデスクリーニングして、正確なカラーマッチング表示を行うモード

ラスコー・モワレチェッカーを使ったモワレ確認は、CTP 出力用の 1bitTIFF をモニターの走査線と干渉させることなく表示させることで行っています。その際にインキの色と透過特性を、**新開発のカラーマネージメント技術（リアルドットカラー）** を使って再現しています。これによって網点形状を正確に維持しながら正確なカラーマッチングを行うことで、モワレの発生状態をモニター上に表示することに成功しています。



■ ■ ■ その他の機能概要 ■ ■ ■

- ・対応ファイル 網点化された 1bitTIFF オプションの RIP を付けた場合は PDF や 8bitTIFF も可
- ・表示版指定 表示版色を指定可能（デフォルトは常に CMYK 全版表示）
- ・紙色表示 紙色のシミュレーションを ON/OFF 可能
- ・ショット保存 モワレが出ている状態を 72dpi の RGB-TIFF データで保存
- ・CMS 設定 ICC Profile によるターゲット/モニタープロファイル選択、トーンカーブ設定



シンボリック・コントロール株式会社

〒272-0033 千葉県市川市市川南 3-10-6 サウス・アレイ 1 号
TEL:047-325-8397 FAX:047-325-8398
URL:<http://www.symbolic-control.co.jp>